

家庭用 コーヒーマーカー
ペーパーフィルター・ドリップバッグ・ドリップポッド対応

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

この製品は日本国内交流100V専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
This product uses only 100 V (volts), which is specifically designed for use in Japan. It cannot be used in other countries with different voltage, power frequency requirements, or receive after-sales service abroad.
本产品仅限于日本国内的 100V 交流电压下使用。不可在日本之外的国家的不同电压和电源频率下使用。在海外也不提供售后服务。

ご意見をお寄せください。
<https://www.tiger.jp/>

愛情点検 長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を!

こんな症状はありませんか

- ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- いつもより異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 水タンクや本体から水もれる。
- その他の異常や故障がある。

使用を中止し、故障や事故防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

点検、修理などを依頼される時などに記入しておくとお便利です。

ご購入年月日	ご購入店名	TEL	()
年 月 日			

タイガーコーヒーマーカー保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書の記載内容に基づき無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

型名	ACT-E		
★お名前	様		
お客様様	ご住所	〒	
	電話番号		
★お買い上げ日	★取扱販売店名・住所・電話番号		
年 月 日			
保証期間(お買い上げ日より)			
本体 1年 (消耗品は除く)			

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは「保証とサービスについて」をご覧ください。

持込修理

〈無料修理規定〉

- ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合には、取扱説明書に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 虫等の侵入による故障
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 消耗品の交換
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

タイガー魔法瓶株式会社

〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用していただく場合がございますので、ご了承ください。

もくじ

はじめに

- 3-安全上のご注意
- 7-各部のなまえと付属品

使いかた

- 9-はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき
- 10-フィルターを使ってコーヒーをいれる
- 16-市販のドリップバッグを使ってコーヒーをいれる
- 18-ドリップポッド(別売)を使ってコーヒーなどをいれる

お手入れ

- 20-お手入れのしかた
- 21-本体ふたパッキン・湯出口パッキンのつけかた
- 22-サーバーふたのはずしかた・つけかた
- 23-ドリップのお湯の出具合が悪くなったとき
- 24-クリーニングのしかた

困ったときは

- 25-故障かな?と思ったら

その他

- 26-仕様
- 27-消耗品・別売品のお買い求めについて
- 27-保証とサービスについて
- 27-連絡先

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

- ◇ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ◇ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。

警告

死亡や重傷を負うことが想定される内容です。

注意

傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の説明



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければならない「指示」内容です。

警告

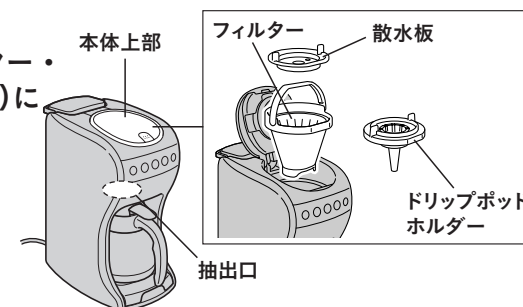
乳幼児には特に注意



子どもだけで使わせたり、乳幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがのおそれ。



使用中や使用後しばらくは高温部(本体上部・抽出口・フィルター・散水板・ドリップポッドホルダーなど)にさわったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。
特に乳幼児には、さわらせないように注意する。



警告

改造はしない



修理技術者以外の方は、分解したり、修理をしない。
感電・けがのおそれ。火災の原因。修理は、販売店または「連絡先→P.27」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトにご連絡ください。
※サーバーふたは、お手入れ時に分解できます。

警告

異常・故障時は



すぐに差込プラグを抜いて、販売店または「連絡先→P.27」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトに点検・修理を依頼する。
そのまま使用すると、感電・けがのおそれ。火災の原因。

〈異常・故障例〉

- ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
- 水タンクや本体から水もれする。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- その他の異常や故障がある。









警告

使用中・使用後は

-  フィルターまたはドリップポッドホルダー、コーヒーサーバーまたはカップをセットしていない状態で使わない。やけどのおそれ。故障の原因。
-  抽出中は、本体ふたをあげない。圧抜き弁からお湯や蒸気が出て、やけどをするおそれ。

注意

使用中・使用後は


-  倒したり落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。本体・フィルター・水タンク・水タンクふた・コーヒーサーバーなどが破損してけがをするおそれ。故障の原因。
-  トレイ・トレイカバーをはずして使わない。やけど・テーブルや敷物を汚す原因。
-  抽出中にコーヒーサーバーやカップなどをはずさない。また、サーバーレバーをさわらない。やけどのおそれ。テーブル・敷物を汚す原因。
-  使用中に「ピピピ」と音が鳴り、停止した場合、本体が冷めるまで本体ふたを開けない。蒸気やお湯が噴出してやけどをするおそれ。
-  コーヒーサーバーやカップなどをのせたまま本体を動かさない。やけど・けがの原因。
-  **必ず実施** 続けて使用するとき、本体の熱が冷めるまで(約10分)待つ。すぐに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。
-  ドリップポッドを使う場合、コーヒーサーバーは使わない。お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。
-  **必ず実施** お手入れは本体が冷えてから行う。高温部にふれると、やけどのおそれ。

末長くご使用いただくためのご注意

- フィルター・コーヒーサーバー・ドリップポッドホルダーは、使うたびにお手入れする。→P.20 においの原因。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。(本体ふたパッキン・湯出口パッキンの煮沸は除く) 変形・破損の原因。
- 指定のドリップポッド以外は使わない。(ドリップポッド使用時)→P.18 うまく抽出できない・故障・コーヒーがあふれる・抽出中に本体ふたが開く原因。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。本体内部にカルシウム分が付着し、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなるおそれ。また、付着したカルシウム分がはがれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因。
- 業務用として使わない。故障の原因。

注意






使用する場所に注意

-  次のような場所では使わない。
 - 不安定な場所
 - 火気の近く
 - 水のかかりやすい場所
 - 底部がぬれるようなところ
 - 直射日光が長時間あたる場所
 - 壁や家具の近く
 - 熱に弱いテーブルや敷物などの上
 - アルミシートや電気カーペットの上
 - カーペット・ビニール袋などの上
 - 室温の高い場所
 - IHクッキングヒーターの上
- 感電・漏電・けがのおそれ。火災・ショート・発煙・発火・故障の原因。本体の変形、またはテーブル・敷物・壁・家具の変色・変形の原因。

各部についての注意事項



電源コード・差込プラグ

警告

-  次のような使いかたをしない。
 - 交流100V以外での使用。(日本国内100V専用)
 - タコ足配線での使用。(定格15A以上のコンセントを単独で使う)
 - 電源コードが破損したままや傷つくような使用。(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものをのせる・挟み込むなど)
-  **ぬれ手禁止** 差込プラグにほこりが付着したり、傷んだままの使用。
-  差込プラグを根元まで確実に差し込んでいなかったり、コンセントの差し込みがゆるいままでの使用。
-  ぬれた手で差込プラグの抜き差し。
-  水につけたり、水をかけたり、ぬれたままでの使用。

感電・漏電・けがのおそれ。火災・ショート・発煙・発火・故障の原因。破損した場合は、販売店または「連絡先→P.27」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトまで修理をご依頼ください。

注意

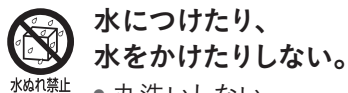
-  **必ず実施** 使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
-  **必ず実施** 必ず差込プラグを持って引き抜く。けが・やけどのおそれ。感電・ショート・発火・漏電火災の原因。壁・家具などの損傷の原因。

安全上のご注意

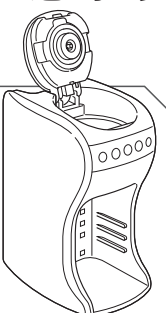
各部についての注意事項

本体

警告



水につけたり、水をかけたりしない。
 ●丸洗いしない。
 ●本体内部に水を入れない。
 本体内部に水が入り、感電のおそれ。ショート・故障・発火の原因。

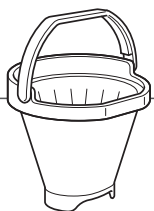


フィルター

注意



ペーパーフィルターを使う場合、指定の大きさのペーパーフィルター以外は使わない。→P.7・10
 うまくドリップできない・故障・コーヒーがあふれる原因。



水タンク

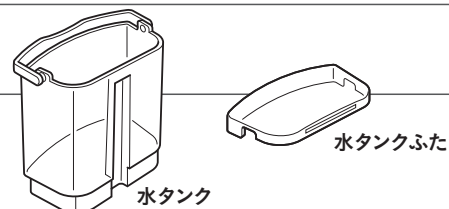
注意



水タンクに水が入っていない状態で通電しない。
 火災・故障の原因。

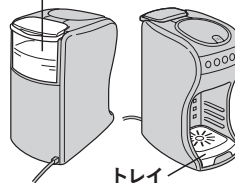


抽出中は、水タンクをはずさない。
 やけどのおそれ。水もれ・故障の原因。



末長くご使用いただくためのご注意

- 水タンク・トレイに水が入ったまま放置しない。
 故障や変色・におい・腐敗の原因。
- 水タンクに水以外のものを入れない。
 故障の原因。



コーヒーサーバー

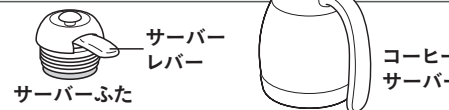
注意



コーヒーサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使わない。
 破損して、やけどやけがの原因。



コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。
 破損して、けがの原因。



- コーヒーサーバーをななめに傾けたり、サーバーレバーを押したまま、持ち運びしない。
 内容物がもれて、やけどのおそれ。

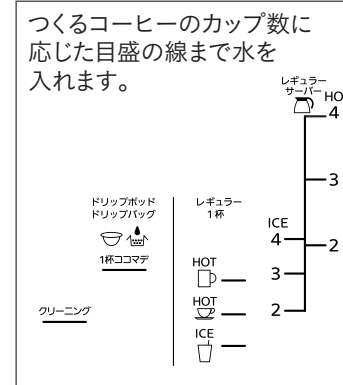
末長くご使用いただくためのご注意

- コーヒーサーバーを落とさない。
 保温効果が下がる原因。

各部のなまえと付属品

箱を開けたら、まず確認してください。

水タンク(目盛つき)



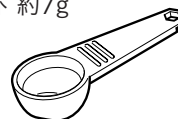
本体ふた

フックボタン



付属品の確認

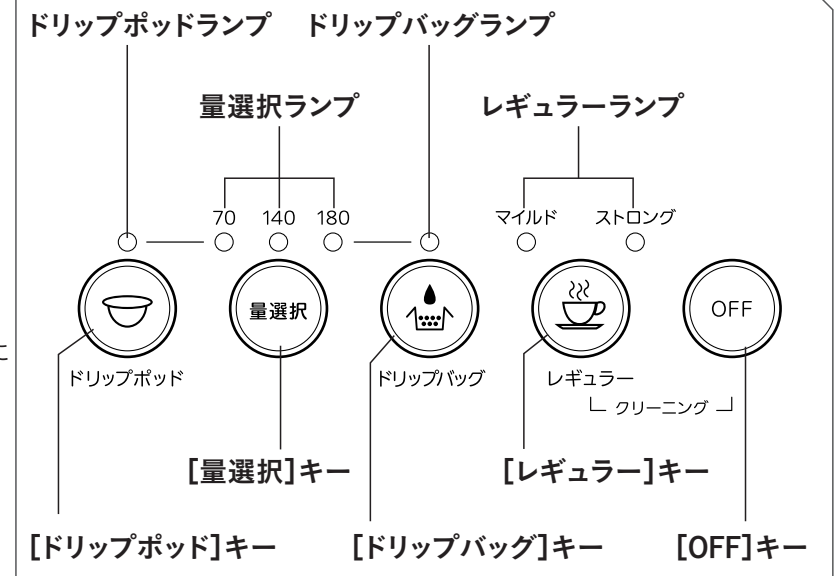
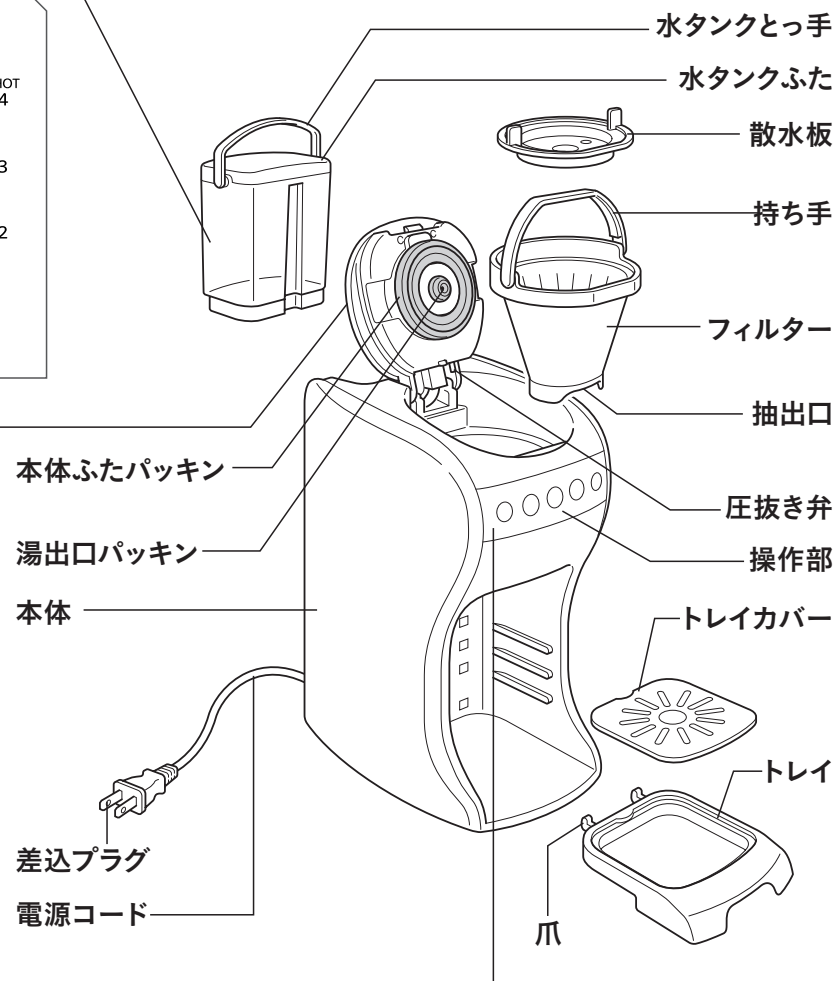
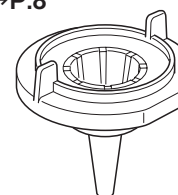
計量スプーン…1個
 すり切り1杯 約7g



ペーパーフィルター
 市販のものも使えます。(サイズ1×2または102)

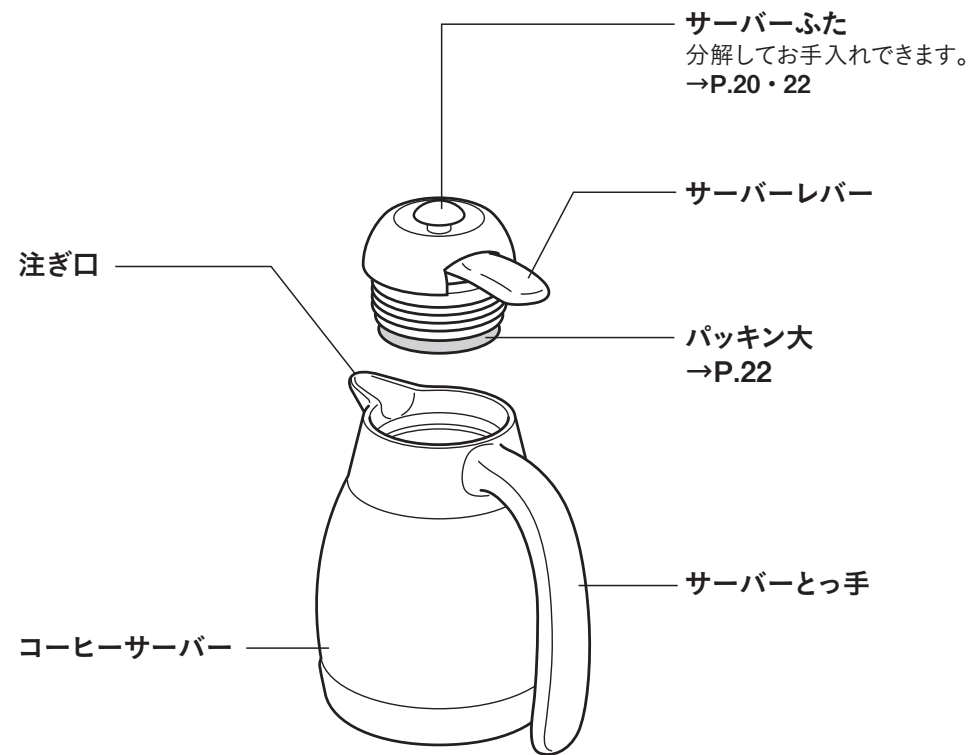


ドリップポッドホルダー…1個
 ドリップポッドで抽出するときに使います。→P.8



はじめに

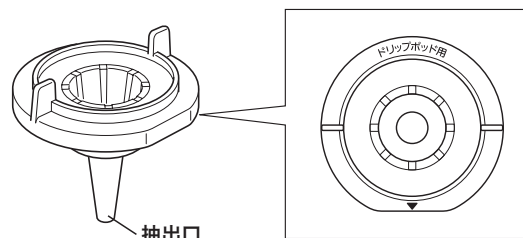
各部のなまえと付属品



ドリップポッドについて

- ◇ドリップポッドホルダーを取り付けると、コーヒー以外も楽しめるドリップポッドが使えます
→P.18・19
「ドリップポッド」は、レギュラーコーヒーや紅茶、緑茶などを1杯分ずつ不織布で成型した半円形のカートリッジに詰めたものです。
- ◇ドリップポッドは、UCC上島珈琲株式会社の登録商標です。

〈ドリップポッドホルダー(付属品)〉



〈ドリップポッド(別売)〉

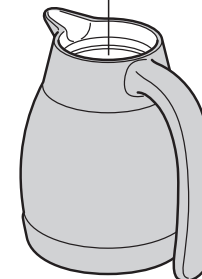


- ◇ドリップポッドのお買い求めは下記へ
〈UCCドリップポッド専用ページ〉
https://drip-pod.jp/?utm_source=referrer&utm_medium=tiger&utm_campaign=dps
〈UCCお問合せ先〉
 電話：フリーダイヤル 0120-655-233



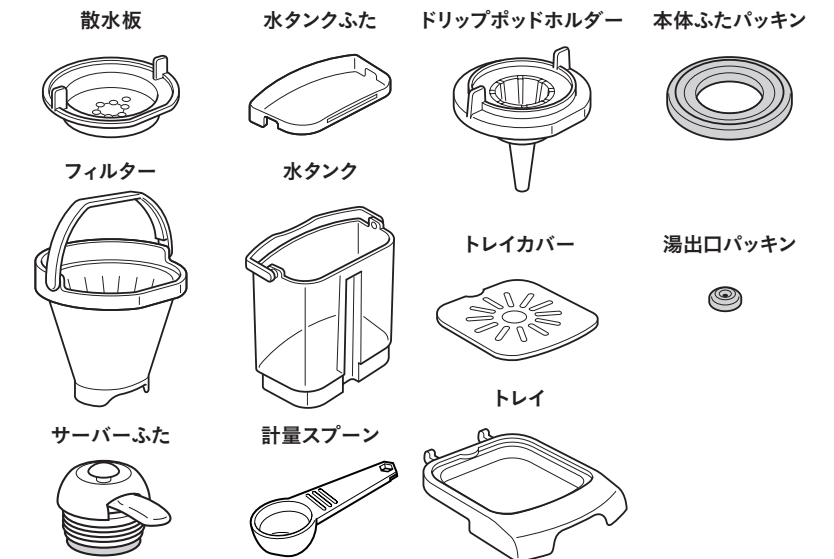
はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき

コーヒーサーバー内側



- 1 本体以外の部品を水洗いする。
コーヒーサーバー内側は、水ですすぐ。

◇丸洗いできる部品



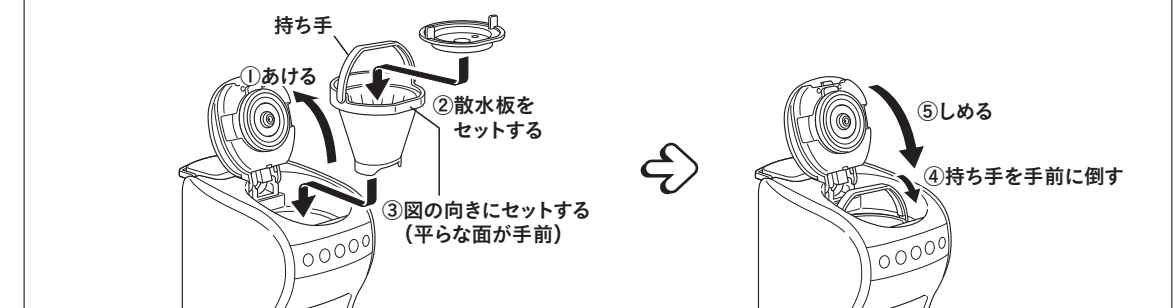
- 2 本体内を洗浄するために、
1～2回ドリップする。→P.10～13

- ◇水は、水タンクの目盛「4」まで入れる。
(コーヒー粉やペーパーフィルターは、セットしない。
ドリップ後のお湯はすてる。)

△ご注意

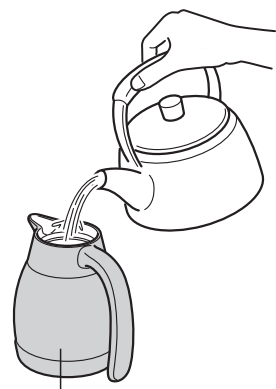
- トレイは確実にセットする。お湯があふれて、やけどのおそれがあります。
- 水タンク以外に水を入れない。
- フィルターをセットするときは、確実に入っていることを確認する。
本体ふたがしまらなかったり、故障の原因になります。

フィルターのセットのしかた



フィルターを使ってコーヒーをいれる

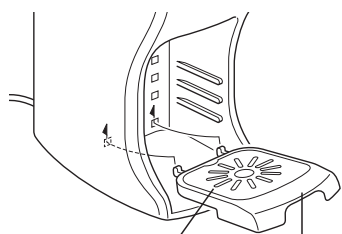
コーヒーサーバーにドリップする場合



コーヒーサーバー

1 コーヒーサーバーに熱湯を約半分まで入れ、1～2分温める。(ホットコーヒーのときのみ)

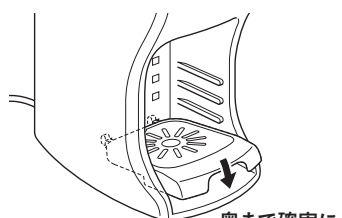
- ◇保温効果を高めるためです。
- ◇温まったら、お湯をすてます。



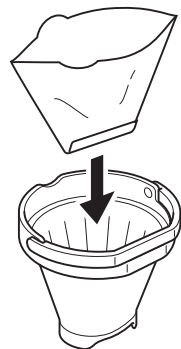
トレイカバー トレイ

2 トレイカバーをトレイにセットし、トレイを本体の一番下にセットする。

- ◇トレイは、奥まで確実にセットします。



奥まで確実に
セットする

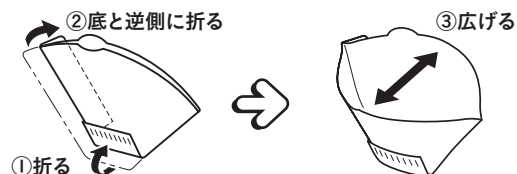


3 ペーパーフィルターをフィルターにセットする。

- ◇市販のペーパーフィルターも使えます。→P.7

《ペーパーフィルターの折りかた》

- ◇底と横のミシン目を、約1cm折り曲げます。



4 付属の計量スプーンで、コーヒー粉をペーパーフィルターに入れて上面をならし、散水板をセットする。

《コーヒー粉を入れる目安》

- ◇コーヒー粉はお好みにより加減します。
- ◇カップ数より少ない量につくらないでください。
- ◇アイスコーヒーをつくるときは、アイス用コーヒー粉を使います。

ホットコーヒー

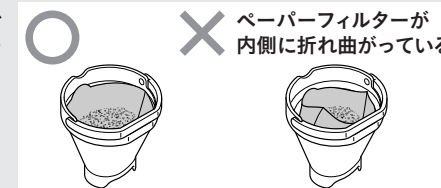
カップ数	コーヒー粉 (計量スプーンすり切り)
	レギュラーサーバー HOT コーヒーカップ 約120mL
2カップ	2杯
3カップ	3杯
4カップ	4杯

アイスコーヒー

カップ数	コーヒー粉 (計量スプーンすり切り)
	レギュラーサーバー ICE 1カップ 約60mL
2カップ	2杯
3カップ	3杯
4カップ	4杯

△ご注意

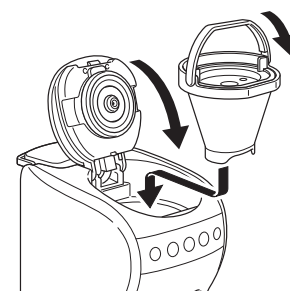
- 散水板はフィルターに必ずつける。コーヒー粉の飛び散りの原因になります。
- 散水板をセットするときは、ペーパーフィルターを中に折り込まないようにする。



5 本体ふたをあけて、フィルターをセットし、本体ふたをしめる。→P.9

△ご注意

- 本体ふたは必ずしめる。電源が入らない原因になります。



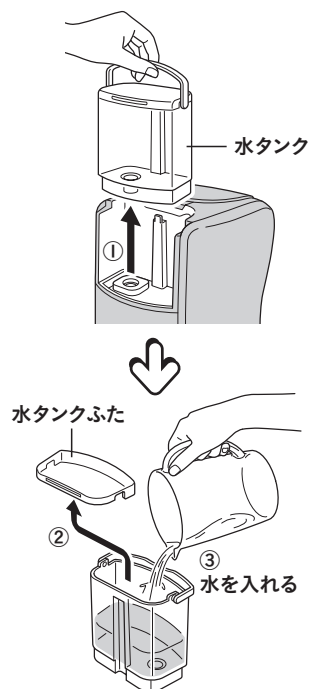
6 コーヒーサーバーを本体の奥まで確実にセットする。

△ご注意

- サーバーふたは必ずしめる。コーヒーがこぼれる原因になります。
- コーヒーサーバーは奥まで確実にセットする。コーヒーがこぼれる原因になります。

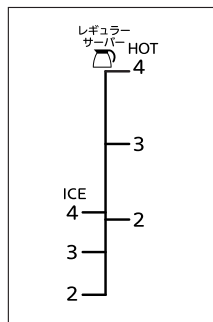


フィルターを使ってコーヒーをいれる



7 水タンクをはずし、水タンクに水を入れる。

- ◇つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛まで水を入れます。
- ◇1杯のコーヒーをドリップするとき→P.14
- ◇の目盛「4」を超えて、水を入れない。(コーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。)

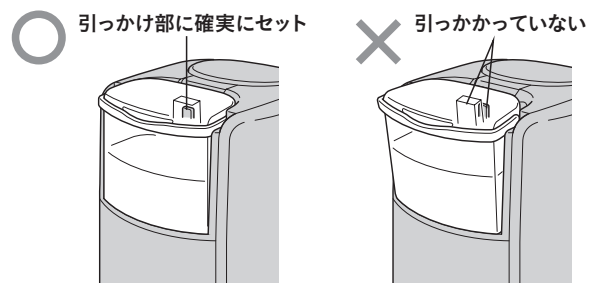


△ご注意

- 水タンクには、水を入れる。お湯や熱湯を入れてドリップすると、故障の原因になります。
- 水タンクは、必ず本体からはずして水を入れる。本体にセットしたまま水を入れると、水管に水が流れ込み、水量が多くなります。

8 水タンクふたをしめ、水タンクを本体に確実にセットする。

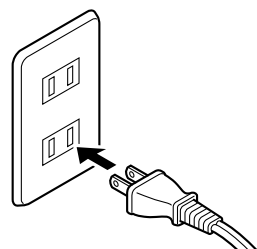
- ◇水タンクは確実にセットする。



△ご注意

- 水タンクが浮いた状態で使用しない。ドリップが途中で終了するおそれがあります。

9 差込プラグをコンセントに差し込む。



10 [レギュラー]を押して、お好みの濃さを選ぶ。

- ◇[レギュラー]を押すごとに、コーヒーの濃さ(マイルド・ストロング)が切り替わります。
- ◇選択した方のレギュラーランプ(マイルドまたはストロング)が約5秒間点滅し、ランプが点灯に切り替わったら、ドリップを開始します。
- ◇ドリップ中は、ポンプの作動音が鳴ります。→P.26

《できあがり時間の目安》

マイルド：約5～8分 / ストロング：約5～13分

※できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などにより変わります。

《キーを押し間違えたとき》

レギュラーランプが点滅している間(約5秒間)は、キーを押すと再度選択できます。

《ドリップを途中でやめたいとき》

[OFF]を押します。

△ご注意

- 抽出中は本体ふたをあけない。圧抜き弁からお湯や蒸気が出て、やけどのおそれ。



11 ドリップが終わったら、コーヒーを注ぐ。

- ◇ドリップが終わったらピーピーピーと音が鳴り、レギュラーランプが消灯します。
- ◇お湯や蒸気が完全に止まってからコーヒーサーバーを取り出します。
- ◇コーヒーは、サーバーレバーを押しながら、こぼさないように注いでください。
- ◇使用後は、差込プラグをコンセントから抜きます。
- ◇ドリップ後のコーヒー粉は、冷めてからフィルターをはずし、ペーパーフィルターごと取り出します。

《熱めのコーヒーをお好みの方》

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぎます。

《コーヒーの温度について》

コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。

《アイスコーヒーの氷の量の目安》

2カップ：120g / 3カップ：180g / 4カップ：240g

《続けてつくる時》

本体が冷めるまで(約10分)待ち、P.10からの手順で再度ドリップします。

△ご注意

- サーバーふたをしめた状態でも、コーヒーがこぼれるため、コーヒーサーバーを傾けない。
- コーヒーサーバーを傾けた状態で、サーバーレバーを離さない。サーバーふたの内部に少量のコーヒーが残り、持ち運ぶときなどにコーヒーがもれるおそれがあります。
- 抽出後しばらくは、抽出口からコーヒーが落ちるので注意する。

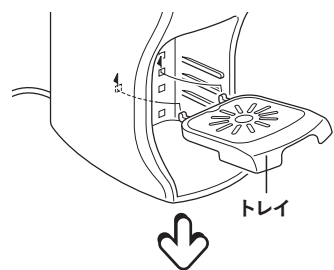
《アイスコーヒーをつくる時》

- ①ドリップ後にサーバーふたをはずし、コーヒーサーバーに氷を入れて、かきまぜながら冷やす。(氷はドリップ後に入れる)
- ②サーバーふたをつけて、サーバーレバーを押しながら注ぐ。



フィルターを使ってコーヒーをいれる

カップに直接ドリップする場合



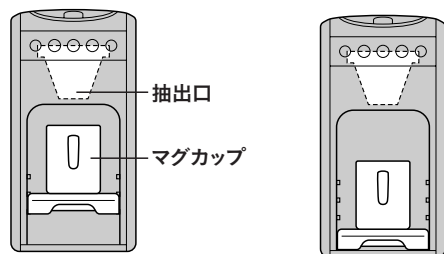
1 トレイカバーをトレイにセットし、トレイを本体に確実にセットする。

◇カップの高さに合わせて、4段階の位置調整ができます。

《トレイのセット位置について》

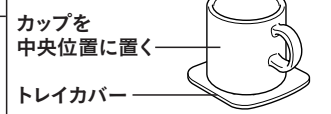
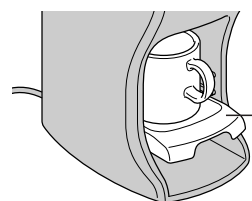
◇カップの上端が、抽出口から離れすぎないように、トレイをセットしてください。離れすぎている場合、コーヒーが飛び散り、やけどや汚れのおそれがあります。

○ カップの位置が 抽出口に近い ✕ カップの位置が 抽出口から離れすぎている



爪が確実に差し込まれていることを確認する

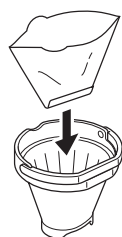
2 カップをトレイカバーの中央位置に置く。



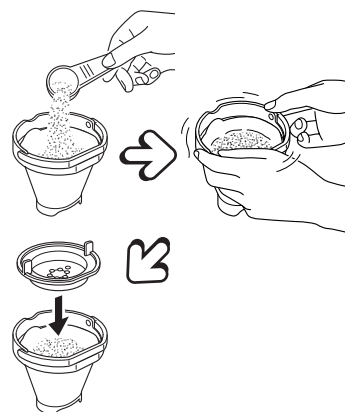
△ご注意

- ガラスのカップは使用しない。(耐熱ガラスは除く)

3 ペーパーフィルターをフィルターにセットする。→P.10・11

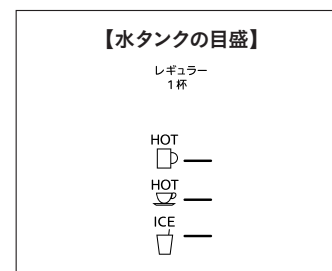


4 付属の計量スプーンで、コーヒー粉をペーパーフィルターに入れて上面をならし、散水板をセットする。→P.11



《コーヒー粉を入れる目安》

コーヒー粉(計量スプーンすり切り)		
ホットコーヒー	HOT ☐ マグカップ約180mL	1.5杯
	HOT ☕ コーヒーカップ約120mL	1杯
アイスコーヒー	ICE ☐ カップ約60mL	1杯



5 水タンクに水を入れて本体にセットし、差込プラグをコンセントに差し込む。→P.12

◇「レギュラー 1杯」のいずれかの目盛まで水を入れます。



6 [レギュラー]を押して、お好みの濃さを選ぶ。→P.13

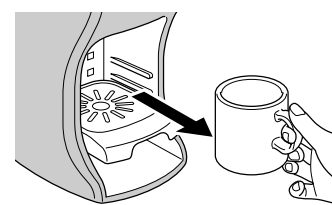
◇[レギュラー] を押すごとに、コーヒーの濃さ(マイルド・ストロング)が切り替わります。

◇量選択はできません。

《できあがり時間の目安》

約3～5分

※できあがり時間は、室温・水温・コーヒー粉の量などにより変わります。



7 抽出が終わったら、カップを取り出す。

◇抽出が終わったらピーピーピーと音が鳴りレギュラーランプが消灯します。

◇お湯や蒸気が完全に止まってからカップを取り出します。

◇使用後は、差込プラグをコンセントから抜いてください。

◇ドリップ後のコーヒー粉は、冷めてからフィルターをはずし、ペーパーフィルターごと取り出します。

《アイスコーヒーをつくるとき》

コーヒーを抽出した後、カップに氷を入れる。



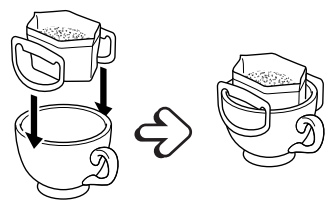
《続けてつくるとき》

◇本体が冷めるまで(約10分)待ち、P.14からの手順で再度抽出します。

△ご注意

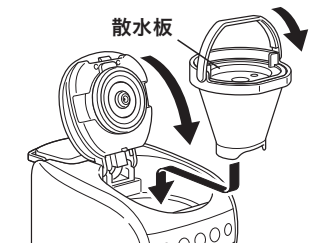
- 抽出後しばらくは、抽出口からコーヒーが落ちるので注意する。

市販のドリップバッグを使ってコーヒーをいれる



1 市販のドリップバッグをカップにセットする。

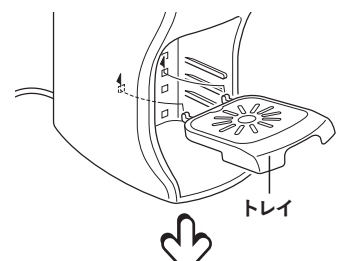
◇ドリップバッグは確実にセットしてください。



2 本体ふたをあけて、フィルターと散水板をセットし、本体ふたをしめる。→P.9 (ペーパーフィルターはセットしない)

△ ご注意

- 本体ふたは必ずしめる。電源が入らない原因になります。
- 散水板はフィルターに必ずセットする。ふたから蒸気がもれるおそれがあります。



3 トレイカバーをトレイにセットし、トレイを本体に確実にセットする。

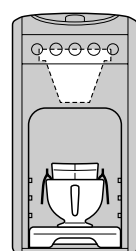
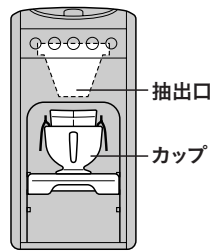
◇ドリップバッグをセットしたカップの高さに合わせて、4段階の位置調整ができます。

《トレイのセット位置について》

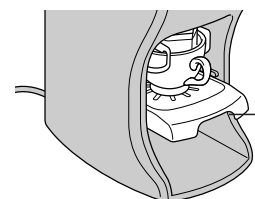
◇カップにセットしたドリップバッグの上端が、抽出口から離れすぎないように、トレイをセットしてください。離れすぎている場合、コーヒーが飛び散り、やけどや汚れのおそれがあります。

○ ドリップバッグの位置が抽出口に近い

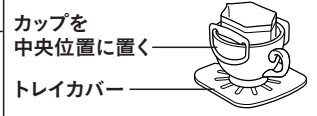
✕ ドリップバッグの位置が抽出口から離れすぎている



爪が確実に差し込まれていることを確認する

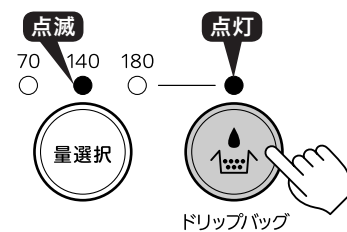
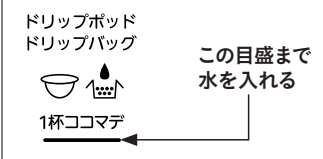


4 ドリップバッグをセットしたカップをトレイカバーの中央位置に置く。



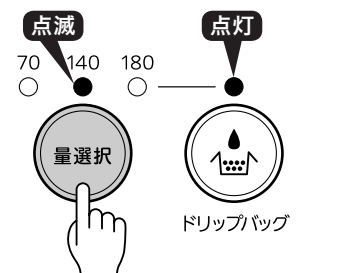
5 水タンクに水を入れて本体にセットし、差込プラグをコンセントに差し込む。→P.12

◇「1杯コマデ」の目盛まで水を入れます。
◇抽出後、水タンクに水が残ります。



6 [ドリップバッグ]を押す。

◇[ドリップバッグ]を押すとドリップバッグランプが点灯し、量選択ランプが点滅します。



7 [量選択]を押してお好みの抽出量を選ぶ。

◇量選択ランプが約5秒間点滅し、点灯に切り替わったら抽出を開始します。
◇[量選択]を押すごとに、抽出量(140または180の2段階)が切り替わります。

◇ドリップバッグに記載の注ぎ量に応じて、カップと量をお選びください。
◇抽出中は、ポンプの作動音が鳴ります。→P.26

《ドリップバッグ使用時の標準抽出量》

140：コーヒーカップ

180：マグカップ

《できあがり時間の目安》

◇約2～3分

《キーを押し間違えたとき》

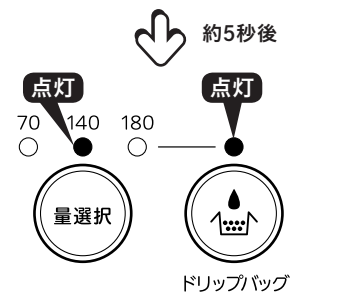
◇量選択ランプが点滅している間(約5秒間)は、キーを押すと再度選択できます。

《抽出を途中でやめたいとき》

◇[OFF]を押します。

△ ご注意

- 抽出中は本体ふたをあけない。圧抜き弁からお湯や蒸気が出て、やけどのおそれがあります。
- 抽出中にコンセントは抜かない。
- ドリップバッグの種類によっては、あふれるおそれがあるのでご注意ください。



8 抽出が終わったら、カップを取り出す。

◇抽出が終わったらピーピーと音が鳴り、ドリップバッグランプが消灯します。

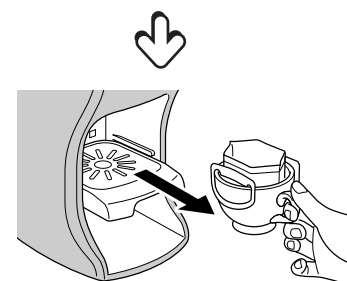
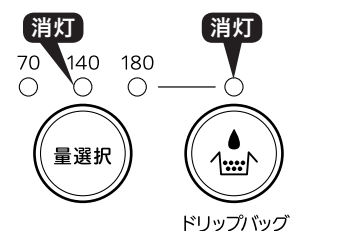
◇お湯や蒸気が完全に止まってからカップを取り出します。
◇ドリップバッグはやけどに注意してカップからはずし、すてます。
◇使用後は、差込プラグをコンセントから抜き、水タンクに残った水をすて、本体内部に残った水を排水してください。→P.24

《続けてつくる時》

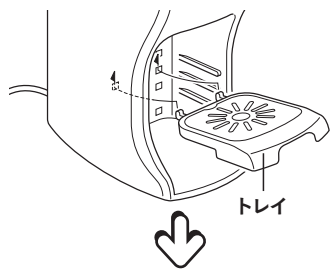
◇本体が冷めるまで(約10分)待ち、P.16からの手順で再度抽出します。

△ ご注意

- 抽出後しばらくは、抽出口からお湯が落ちるので注意する。
- 抽出後のカップは静かに取り出す。ドリップバッグ内にお湯が残って取り出すときにこぼれ、やけどのおそれがあります。



ドリップポッド(別売)を使ってコーヒーなどをいれる

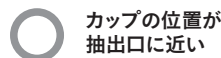


1 トレイカバーをトレイにセットし、トレイを本体に確実にセットする。

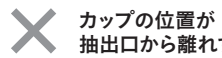
◇カップの高さに合わせて、4段階の位置調整ができます。

《トレイのセット位置について》

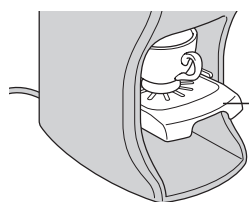
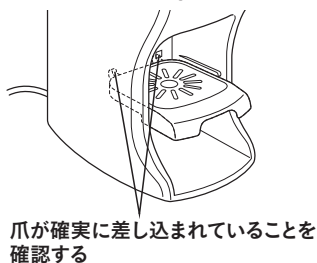
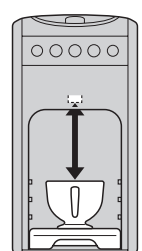
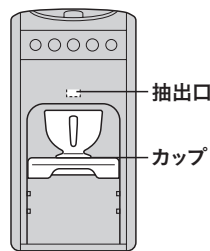
◇カップの上端が、抽出口から離れすぎないように、トレイをセットしてください。離れすぎている場合、コーヒーが飛び散り、やけどや汚れのおそれがあります。



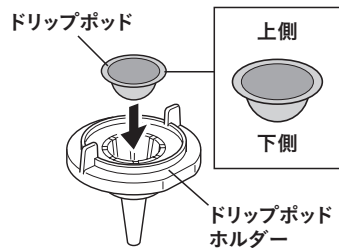
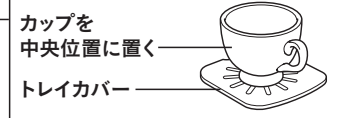
○ カップの位置が
抽出口に近い



✕ カップの位置が
抽出口から離れすぎている



2 カップを、トレイカバーの中央位置に置く。

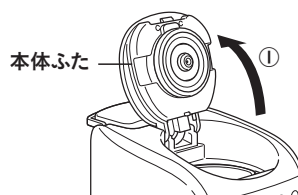


3 ドリップポッドをドリップポッドホルダーにセットする。

◇ドリップポッドの上下の向きを確認してセットしてください。

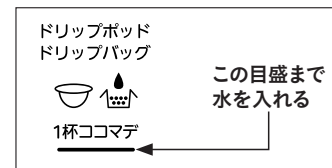
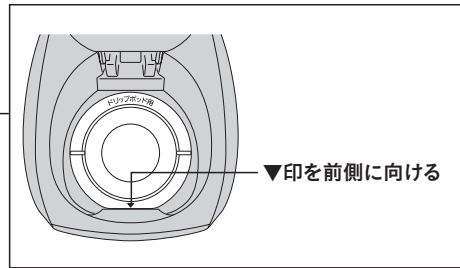
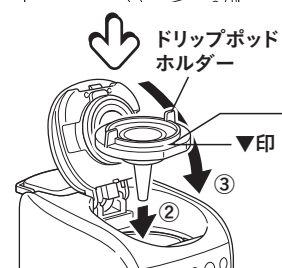
△ご注意

- 破れたり、粉がもれたりしたドリップポッドは使えません。



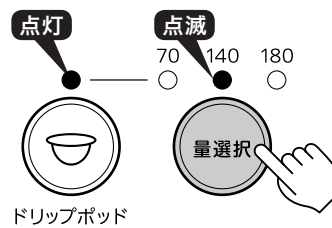
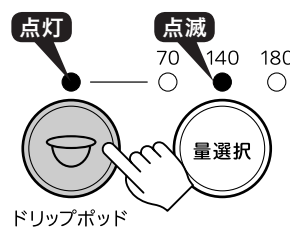
4 本体ふたをあけて、ドリップポッドホルダーをセットし、本体ふたをしめる。

◇ドリップポッドホルダーの▼印を前側に向けてセットします。(確実にセットされていることを確認してください)

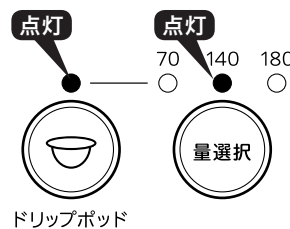


5 水タンクに水を入れて本体にセットし、差込プラグをコンセントに差し込む。→P.12

- ◇「1杯コマデ」の目盛まで水を入れます。
- ◇抽出後、水タンクに水が残ります。



約5秒後



6 [ドリップポッド]を押す。

- ◇[ドリップポッド]を押すとドリップポッドランプが点灯し、量選択ランプが点滅します。

7 [量選択]を押して、抽出量を選ぶ。

- ◇量選択ランプが約5秒間点滅し、点灯に切り替わったら抽出を開始します。
- ◇[量選択]を押すごとに、抽出量(3段階)が切り替わります。
- ◇抽出中は、ポンプの作動音が鳴ります。→P.26

《ドリップポッド使用時の推奨抽出量》

- 70：アイスコーヒー・アイ스티ー
- 140：コーヒー(標準抽出量)
- 180：緑茶・紅茶・ウーロン茶



《キーを押し間違えたとき》

量選択ランプが点滅している間(約5秒間)は、キーを押すと再度選択できます。

《できあがり時間の目安》

- ◇約1分半～2分半

《キーを押し間違えたとき》

◇量選択ランプが点滅している間(約5秒間)は、キーを押すと再度選択できます。

《抽出を途中でやめたいとき》

- ◇[OFF]を押します。

△ご注意

- 抽出中は本体ふたをあげない。圧抜き弁からお湯や蒸気が出て、やけどのおそれがあります。
- 抽出中にコンセントは抜かない。

8 抽出が終わったら、カップを取り出す。

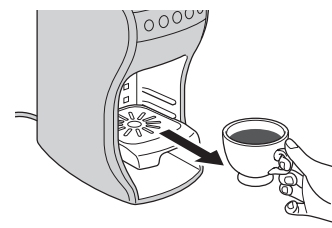
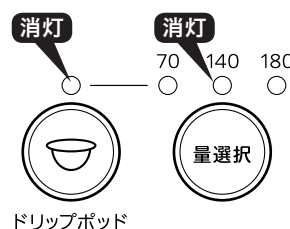
- ◇抽出が終わったらピーピーと音が鳴り、ドリップポッドランプが消灯します。
- ◇お湯や蒸気が完全に止まってからカップを取り出します。
- ◇冷めてからドリップポッドホルダーを取り出し、ドリップポッドをすてます。
- ◇使用後は、差込プラグをコンセントから抜き、水タンクに残った水をすて、本体内部に残った水を排水してください。→P.24

《続けてつくる時》

- ◇本体が冷めるまで(約10分)待ち、P.18からの手順で再度抽出します。

△ご注意

- 抽出後しばらくは、抽出口からコーヒーが落ちるので注意する。
- 抽出後のドリップポッドは、冷めてから取り出す。やけどのおそれがあります。



お手入れのしかた

◇必ず差込プラグを抜き、冷めてからお手入れしてください。

準備する 用具・洗剤

やわらかいスポンジ やわらかい布・やわらかいブラシ 家庭用の中性台所用合成洗剤 (食器用・調理器具用)

使えないもの

- ナイロンたわし・金属たわし・金属へらなど
- スポンジの研磨粒子部分
- メラミンスポンジ
- 中性以外の洗剤
- シンナー類・クレンザー・漂白剤
- 化学ぞうきん
- 熱湯 (本体ふたパッキン・湯出口パッキンの煮沸は除く)
- 食器洗浄機・食器乾燥器

使うたびに洗うもの

1. 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジやブラシを使って洗い、水ですすぐ。
2. サーバーふたを振って、穴から水を抜く。
3. 乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。



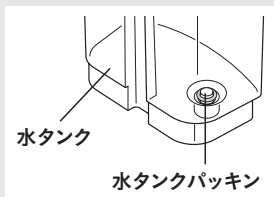
コーヒーサーバーのお手入れ

1. 内側は、洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジやブラシを使って洗い、水で十分にすすぐ。汚れが目立ってきたら、クエン酸(約10g)をぬるま湯でうすめてコーヒーサーバーに入れ、2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。
 2. 外側は、洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。
- ※コーヒーの汚れには、ステンレスポル用洗剤TAA-A100 (別売品)のご使用をおすすめします。



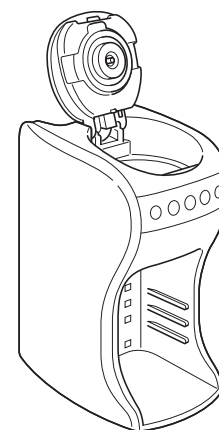
△ご注意

- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
- コーヒーサーバーのつけおぎ洗いをしない。
- ドリップポッドホルダーの抽出口が詰まった場合は、細い棒状のものを差し込んで取り除く。
- 水タンクパッキンは、はずさない。水もれの原因。



汚れるたびにお手入れする箇所

1. 洗剤をうすめた水またはぬるま湯に布をひたし、かたくしぼってふく。(電源コード・差込プラグは乾いた布でふく。)
2. 乾いた布で洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。



△ご注意

- 本体を水につけたり、水をかけたりしない。

においがついたとき (本体ふたパッキン・湯出口パッキン)

においが本体ふたパッキン・湯出口パッキンに付着した場合は、パッキンを30分程度煮沸すると、においが少なくなります。煮沸してもにおいが気になる場合は、別売の本体ふたパッキン・湯出口パッキンをお買い求めください。→P.27

本体ふたパッキン・湯出口パッキンのつけかた

◇本体ふたパッキン・湯出口パッキンは、はずしてお手入れできます。

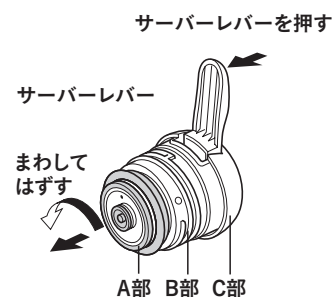


サーバーふたのはずしかた・つけかた

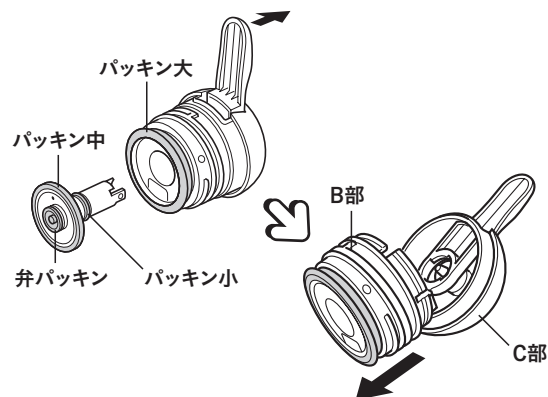
サーバーふたのはずしかた

◇必ずA部をはずしてからB・C部をはずします。

- 1 サーバーレバーを押し、A部をまわしてはずす。

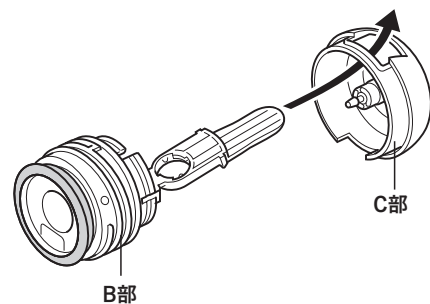


- 2 B部からC部をはずす。

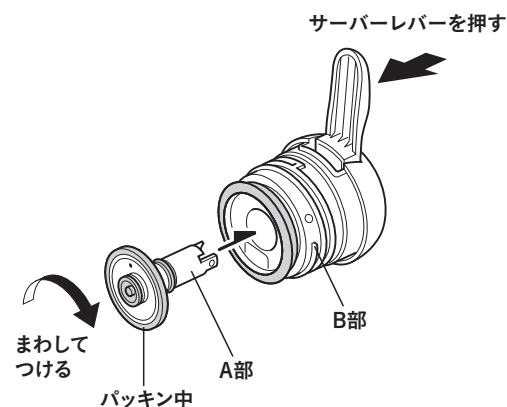


サーバーふたのつけかた

- 1 B部のサーバーレバーをC部の穴に合わせてつける。

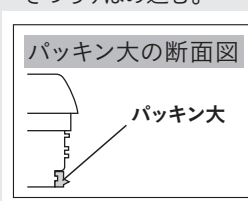
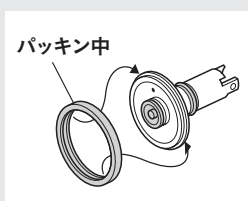


- 2 サーバーレバーを押し、A部をB部に、カチッと音がするまでまわしてつける。



△ご注意

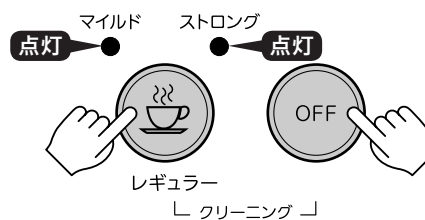
- 弁パッキン・パッキン小は、はずさない。故障の原因になります。
- パッキン中がはずれたときは、注意して奥まできっちりはめ込む。
- パッキン大がはずれたときは、向きに注意して奥まできっちりはめ込む。



ドリップのお湯の出具合が悪くなったとき

◇クエン酸を使って、本体内を洗浄します。

- 1 トレイカバーをトレイにセットし、本体の一番下にセットする。→P.10
- 2 散水板をフィルターにつけ、フィルターをセットする。→P.9 (ペーパーフィルターはセットしない)
- 3 コーヒーサーバーをセットする。→P.11
- 4 水タンクに、クエン酸約10g (大さじ1杯)を入れ、の目盛「4」まで水を入れてまぜる。
- 5 水タンクふたをしめ、水タンクを本体にセットする。→P.12
- 6 差込プラグをコンセントに差し込む。→P.12
- 7 [レギュラー]と[OFF]を2秒以上長押しする。マイルドランプとストロングランプが点灯。



- 8 ピーピーピーと鳴って、クエン酸洗浄が自動的に止まる。

- 9 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ。
- 10 コーヒーサーバーのお湯をすてる。
- 11 クエン酸水のおいをとるために、水タンクのの目盛「4」まで水を入れ、1～4回ドリップする。→P.10～13
※ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。ドリップ後のコーヒーサーバーのお湯(水)はすてる。

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先→P.27」に記載のタイガーお客様相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトでお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸 (約30g×4包入り)
品番	PKS-0120
部品コード	PKS1007

※クエン酸は、食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

クリーニングのしかた

◇右記のような場合は、クリーニングを行ってください。

- ドリップバッグを使用したとき。
- ドリップポッドを使用したとき。
- 前回使用してから、しばらく使わなかったとき。
- ミネラルウォーターを使用している場合。

1 トレイカバーをトレイにセットし、本体の一番下にセットする。→P.10

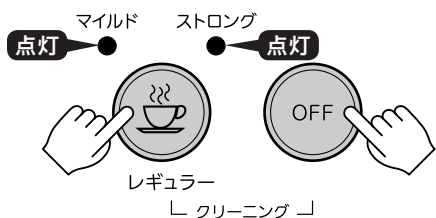
2 散水板をフィルターにつけ、フィルターをセットする。→P.9 (ペーパーフィルターはセットしない)

3 コーヒーサーバーをセットする。→P.11

4 水タンクに、「クリーニング」の目盛まで水を入れて、本体にセットする。→P.12

5 差込プラグをコンセントに差し込む。→P.12

6 [レギュラー]と[OFF]を2秒以上長押しする。マイルドランプとストロングランプが点灯。



7 クリーニングが終わったら(水がなくなったら)、ピーピーピーと鳴って、マイルドランプとストロングランプが消灯し、自動的に止まる。



8 コーヒーサーバーの水をすてる。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください	こう処置してください	参照ページ
• キーを押しても、反応しない。	→ 差込プラグをコンセントに、差し込んでいますか。	→ 差込プラグをコンセントに、差し込む。	→ 12
• お湯が出ない。	→ 水タンクに水が入っていますか。	→ 水タンクに水を入れる。	→ 12・15 16・19
	→ 水タンクがセットされていますか。	→ 正しく確実にセットする。	
	→ 湯出口に汚れが付着していませんか。	→ お手入れする。	→ 20
• お湯の出具合が悪い。(時間がいつもより長くなる)	→ -	→ クエン酸を使って本体内を洗浄する。	→ 23
• お湯がおおう。	→ -	→ クエン酸を使って本体内を洗浄する。	→ 23
• コーヒーサーバーからあふれる。	→ サーバーふたが目詰まりしていませんか。	→ サーバーふたをお手入れする。	→ 20 22
	→ 水タンクに水を入れすぎていませんか。	→ 水タンクの「4」の目盛「4」を超えて、水を入れない。	→ 12
	→ フィルター・散水板をセットしていますか。	→ フィルター・散水板を確実にセットする。	→ 9~11
	→ ドリップポッドホルダーをセットしていませんか。	→ コーヒーサーバーを使うときは、フィルター・散水板をセットする。	
• 抽出中に本体ふたが開く。	→ 指定のドリップポッドを使っていますか。	→ 指定のドリップポッドを使う。	→ 8 18
• ドリップバッグ・ドリップポッド使用時にカップから飲みものがあふれる。	→ [レギュラー]を押していませんか。	→ [ドリップバッグ]または[ドリップポッド]を押す。	→ 16~19
	→ カップに合わせた抽出量を選択していますか。	→ カップに合わせた抽出量を選択する。	
• トレイからお湯などがあふれる。	→ トレイにお湯などが入ったままになっていませんか。	→ トレイに何も入っていない状態で使う。	→ 10・14 16・18
	→ カップをトレイカバーの中央位置以外に置いていませんか。	→ カップをトレイカバーの中央位置に置く。	
• ペーパーフィルター使用時にカップからコーヒーがあふれる。	→ 水タンクに水を入れすぎていませんか。	→ 使用するカップに合った量の水を入れる。(水タンクの目盛に合わせる)	→ 12 15
• ドリップバッグ使用時に、お湯がカップの外にこぼれる。	→ フィルターをセットしていますか。	→ フィルターをセットする。	→ 16

お手入れ / 困ったときは

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認してください	こう処置してください	参照ページ
●「ピピピ」と音が鳴り、操作できない。	→ 本体ふたがあいていませんか。 → 本体ふたがしまっている場合は、本体が冷めてから(約10分)、本体ふたをあけ、しめる。	→ 本体ふたをしめる。	→ 11
●水タンクに水が残った状態で「ピピピ」と音が鳴り、ランプが消灯した。	→ 水タンクに水を入れすぎていませんか → 水タンクが浮いていませんか → できあがりのコーヒーの量が少なくありませんか。	→ 水タンクの☐の目盛「4」を超えて、水を入れない。 → 水タンクを確実にセットする。 → クエン酸を使って、本体内を洗浄する。	→ 12 → 12 → 23
●コーヒーサーバーの内側が黒く変色している。	→ コーヒーサーバーの内側にコーヒー渋が付着していませんか。	→ コーヒーサーバーをお手入れする。	→ 20

こんなときは	原因	参照ページ
●コーヒーがぬるい。(保温が効いていない)	→ コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。抽出したコーヒーの量が少ない(1~2カップ)と冷めやすくなります。 → 寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温効果が得られない場合があります。	→ 10~13
●抽出後のコーヒーに油のようなものが浮いている。	→ コーヒー豆の油分も多少抽出されます。故障ではありません。	
●樹脂部品にキズ(欠け)のように見える箇所がある。	→ 樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	
●樹脂などのおいがする。	→ 使いはじめのうちは、樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	
●本体上部が熱くなる。	→ 本体上部にお湯が通るためです。故障ではありません。	
●作動音や振動が大きい。	→ 本体内のポンプで水をくみあげ、本体内に水を通す音です。故障ではありません。	

仕様

電源	消費電力(W)	満水容量*(L)	抽出方式	コードの長さ*(m)
100V 50-60Hz	1000	0.54	ドリップ式	1.25
	外形寸法*(cm)			質量*(kg)
	幅	奥行	高さ	
フィルター使用時(サーバーあり)	18.1	27.9	34.2	3.2
フィルター使用時(サーバーなし)	18.1	27.1	34.2	2.8
ドリップポッド使用時	18.1	27.1	34.2	2.7

*おおよその数値です。

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先→下記」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトでお買い求めください。

◆パッキン(消耗品)

汚れやにおいがひどくなったり、破損したときは、上記でお買い求めください。

◆樹脂部品(傷んできたとき)

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。下記までご相談ください。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら」→P.25・26をご覧ください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼される時

保証期間内 …… おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証期間を過ぎているとき …… まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをご知らせください。
①製品名 ②品番(本体背面シールに表示) ③製品の状況(できるだけくわしく)

4 補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料	…… 不具合の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。
部品代	…… 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口(下記)までご相談ください。

●本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談 お客様ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ

有料でご案内させていただいております。

TEL(06)6906-2121

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)

消耗品・別売品のご購入サイト

<https://www.tiger-shop.jp/>



修理に関するご案内・受付サイト

<https://www.tiger.jp/customer/repair.html>



ホームページアドレス <https://www.tiger.jp/>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。